

※本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会・都庁記者クラブに配布しております。

平成 30 年 4 月 10 日

理事長 清野 智

国際研究皮膚科学会(ISID2023)の東京開催決定！

- オーストリア(ザルツブルグ)で開催された欧州研究皮膚科学会(ESDR2017)でのプレゼンテーションを経て、2023年に開催される国際研究皮膚科学会(ISID2023)の開催地が東京に決定しました。
- これまで日本、米国、欧州の3学会の会議であったところ、2023年より他のアジア諸国会議の参加対象となります。拡大後初の開催となる今回、日本のこれまでの同分野への貢献が評価され、他のアジアの競合国をおさえ、オールジャパンでの誘致活動が実を結び、日本が開催地として選定されました。
- 日本でISID2023を開催することにより、世界各国からの参加者に日本の最先端の研究成果を共有する機会を持つことができます。また、アジア諸国からの参加者が増加し、同地域における研究皮膚科領域がより発展していくことの一助となることが期待されます。
- 日本政府観光局(JNTO)は、一般社団法人日本研究皮膚科学会、観光庁、東京観光財団と連携し、MICEアンバサダーである京都大学教授 梶島健治(かばしま けんじ)氏の誘致支援を行いました。

会議名	和文): 第1回国際研究皮膚科学会 英文): International Societies for Investigative Dermatology 2023 (ISID 2023)		
概要	国際研究皮膚科学会は、世界中の皮膚科医や研究者が集まり、皮膚科学の質の向上と研究発表を目的とした国際会議。 1989年より、日本研究皮膚科学会(JSID)、米国研究皮膚科学会(SID)、欧州研究皮膚科学会(ESDR)の3団体で学術大会(IID)を開催してきた。日本では1993年、2008年にIIDを開催した実績がある。2023年よりアジア諸国も対象とし、国際研究皮膚科学会(ISID)として開催する予定であり、会議対象の拡大後初の会議が東京開催となる。		
主催団体	International Societies for Investigative Dermatology	予定開催期間	2023年5月10日~14日
		参加予定人数	2,500名(海外:2,000名 国内:500名)
開催都市	東京	予定参加国数	50か国以上
誘致活動	・観光庁、東京観光財団、一般社団法人日本研究皮膚科学会と連携し、観光庁長官、東京都知事、東京観光財団理事長、JNTO理事長より招請状を発出。 ・MICEアンバサダープログラムとしてプレゼンテーションのコンサルティング支援を行った。		

【問い合わせ先】

コンベンション誘致部 高橋
TEL : 03-6691-4852